

すべての学友は革命的学生運動の戦列へ 戦争・ファシズムへの突撃を打ち碎く 2018年の激闘を闘いぬこう

すべての新入生の諸君。いまだかつてないような激動の時代が到来し、文字通り「闘わなければ生きていけない」状況を迎えてる。そのような時代に大学生として新たな人生を歩み始めた諸君。いまこそ闘いによって現状を変革し、未来を切り拓く闘いへの総決起を呼び掛ける。

煮詰まる朝鮮反革命戦争の危機

朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)への戦争挑発・軍事的包囲を推し進める日米韓に対し、北朝鮮が核実験やロケット発射で対抗するという一触即発の危機が継続し、朝鮮反革命戦争の危機が急速に強まっている。

他方では、「電撃的な」中朝首脳会談が行われ、南北首脳会談・米朝首脳会談も決定している。一貫して蚊帳の外に置かれた日帝安倍政府は国際的な孤立を恐れつつ、米韓支配階級に対して「最大限の圧力を」「日米韓の軍事的連携を」と声高に戦争を煽り続けている。

むろん、こうした「和平ムード」それ自体が何らかの解決をもたらすものではない。これら首脳会談に至る一連の経過は、未曾有の危機の中で延命の諸方策を失いつつあるブルジョアジーとスターリニストの危機の深さを反映するものである。米帝トランプ政権は北朝鮮に対して一方的に核の廃止を求めながら、自らは「核軍縮」どころか核戦略の強化に突き進んでいる。また政府高官に対北強硬派を据え、軍事オプション・戦争恫喝をかけ続けている。

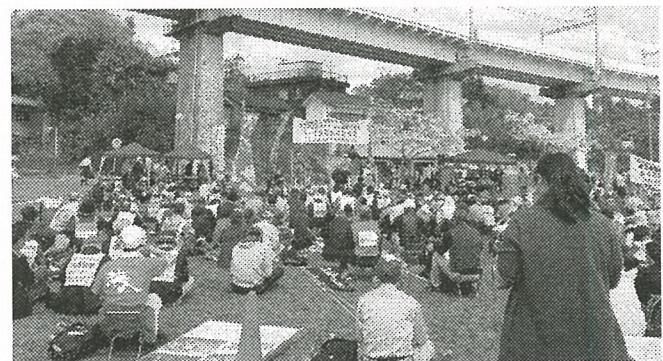
恐慌・戦争—ファシズムと対決しよう

日帝(日本帝国主義)安倍政府は、その体制的危機の突破を賭け、戦後史を画する攻撃を開始している。帝

国主義諸国との反革命協調に突き進み、マスコミを総動員した「反北」キャンペーンを展開し、排外主義、愛国主義を扇動している。

また、安倍政府は、天皇元首化や9条改編、緊急事態条項の創設など改憲に突き進もうとしている。改憲は、現在の朝鮮反革命戦争突撃と一体の攻撃だ。

昨年8月、防衛相・小野寺は集団的自衛権を想定した「存立危機事態」に言及した。また核武装や先制攻撃のためのミサイル保有さえ公然と主張されている。さらに、宇宙空間を通過し太平洋のはるか北部・米アリューシャン列島沖に落下したミサイルを「日本上空を通過」「襟裳岬東2200キロ地点に落下」などとペテンを弄しつつ危機を煽りたてた。労働者人民を「国防」に動員し、臨戦態勢を構築する事を狙っているのだ。



4月1日成田市 栗山公園でかちとられた、
三里塚4・1全国総決起集会

全学連

全日本学生自治会総連合【伍代委員長】九州ブロック

連絡先:福岡市城南郵便局私書箱7号

<http://zengakuren.info>

また、政府・資本は原発再稼動・原発輸出の強行一核武装につき進んでいる。

3月23日に再稼動が強行された佐賀県の九州電力玄海原発3号機で、そのわずか一週間後の30日に配管から蒸気が漏れているのが確認され、4月1日点検で発電タービンを回すための配管に直径1センチほどの穴があいていたことがわかった。「身内」も同然の原子力規制委員会が「はじめに再稼働ありき」でロクな検査もせずゴーサインを出し、裁判所もお墨付きを与えたという事だ。

政府が原発にこだわり続ける真の動機は、日帝の核武装化にある。絶対に許してはならない。

天皇アキヒトの「生前退位」表明をめぐり、天皇制の強化と改憲に向けた攻撃を激化させている。そんな中で、天皇・皇后の「強い希望」のもと3月27日に沖縄訪問が強行された。しかもふざけたことに、この3月27日は1879年「琉球処分」の日である。日本政府は「沖縄県」設置を通告、約500年にわたる琉球王国の歴史は終わり、日本帝国主義の同化支配の歴史が開始された。この「琉球処分」の日をあえて選択し沖縄に上陸したアキヒトの「強い希望」とは、まさに辺野古新基地建設、高江ヘリパッド建設に対する不屈の闘いを叩きつぶし、さらなる同化・皇民化支配を強化する事に他ならない。さらに翌28には与那国に乗り込み、自衛隊の南西諸島進出・強化を激励し、戦争態勢強化に一役買っている。辺野古では6月にも護岸工事が終了し、本格的に海が埋め立てられようとしている。これを許してはならない。

学校法人「森友学園」との国有地取引に関する決裁文書改ざんをめぐって人民の怒りが爆発し、安倍連合政府は森友問題をきっかけに決定的な危機を迎つつある。籠池は日本会議の大坂地区役員であり、園児に「教育勅語」を暗唱させてきた生糸のファシストである。その籠池の学校設立にファシスト集団・日本会議が総力で関わり、8億円もの国有地の値引きを政府財務省に働きかけた。安倍晋三・昭恵がこれを主導したのである。

政権崩壊の危機に直面する安倍政府は、人民の怒りの矛先を対外的な矛盾に振り向けるべく戦争突撃に躍起となっているのである。

労学連帯! 弾圧と対決する革命的学生運動の前進を! いまこそ労働者に続け

アベノミクスのもと、大企業は法人税減税など優遇される一方、労働者には「非正規」化・低賃金・長時間労働・失業を強制し、増税や生活保護の削減がさらに追い打ちをかけ、人民は窮屈のどん底に叩き込まれている。消費税の10%への増税、派遣法改悪、「残業代ゼロ」法案、裁量労働制の拡大、労働争議破壊の労働法制改悪を推進している。労働者を徹底して資本の隸属下に置ぐものだ。

安倍は国会冒頭、「働き方改革を断行する」とぶち上げた。「働き方改革」は従来の労働法制を根底から破壊し、時間給を成果給に置き換え、無制限のタダ働きと過労死を強制する労働者虐殺攻撃だ。去る1月29日の国会答弁で安倍は「裁量労働制の労働時間は一般労働者より短い」とする捏造データを持ち出した。

自らが生きるために手段=生産手段を、資本家階級に奪われているがゆえに、労働力商品=賃労働者として売り込まなければ生きていけない存在、したがってその鉄鎖を解き放たなければいずれ殺されていく存在、それが労働者階級である。総「非正規」化、極限的な労働強化がますます進行する中、労働者階級自身が「生きる」ため反撃の武器を取り起しあがろうとしている。

こんにち学園では資本や軍事と連携した研究が進められている。学生に対して「スキルを磨け」と競争・選別が強要され、就活におわれ、奨学金ならぬ教育ローンでがんじがらめになっている。教育過程=労働力再生産過程にある学生こそ、階級闘争の先頭に立たねばならない。いまこそ労働者に続け! 産学協同路線を粉碎し、労学連帯を掲げ労働者と共に闘おう。学生こそプロレタリア世界革命の先頭で闘おう

廃棄・否定…一転認める 繰り返してきた安倍政権 敬海路

佐川義夫 森友学園問題	加計学園問題	福田朋美 南スーダン日報問題	加藤勝信 裁量労働制不適切データ問題
2017年2月 「交渉記録は廃棄した」 財務省・佐川理財局長(当時)	17年5月 「総理のご意向」文書報道に「怪文書みたいな文書」 菅官房長官	16年12月 廃棄したとして情報公開請求に不開示	18年2月 「実際の調査票はなくなっている」 加藤厚生労働相
↓ ところが... ↓			
交渉経緯を含む内部検討文書を開示	文部科学省が調査で同内容の文書を発見	別部署で発見したとして公表。「隠蔽の意図なかった」 福田芳爾相(当時)	愈々で発見、データの異常値も相次ぐ

戦争と恐慌の時代に「中立」はない いまこそファシズムへの突撃をはね返せ

全世界が戦争へと大きく傾斜している背景には、現在の長期的な経済不況—10年来継続し出口の見えない世界的な恐慌情勢がある。

資本主義体制の崩壊的危機はブルジョアジーを危機に陥れ、その延命のために一切のしわ寄せを労働者・人民に押しつけている。

資本主義社会の矛盾により強制される困窮、しかしここから必然的に沸き上がる労働者階級の怒りの爆発。これこそ資本家、およびその共同利害態である国家権力の最も恐れることである。だからこそ、支配階級はその怒りを「国益=国民の利益」なる幻想に絡めとり、また差別や排外主義を煽ることによって、自らに向けられるべき怒りを外部に逸らし、もしくは治安弾圧をもって直接に暴力的にたたきつぶす。…こうしてブルジョアジーの階級的延命を図るための唯一の手段、戦争とファシズムへと突き進んでいるのだ。

「福島の原発事故は収束した」なるデマをもって強行されようとしている20年東京オリンピックを通して、反革命国民統合、愛国主義・排外主義の鼓吹、治安弾圧強化をもぐろんでいる。

さらに労働者人民の反抗、反撃を未然に叩きつぶすべく、「テロ等準備罪」、刑訴法改悪をはじめとした治安弾圧の強化に突き進んできた。

こうした中で排外主義が激化し、ファシストが台頭が広まりを見せている。

昨年9月、副首相・麻生太郎は、「武装難民、防衛出動か、射殺か」と朝鮮人虐殺を煽動した。また、政治学者・三浦瑠麗は2月11日のテレビ番組で「国内にスリーパーセルと呼ばれる北朝鮮のテロリスト分子が潜んでおり、指導者の死後に活動を始める」などと何ら根拠もないデマを流し在日朝鮮人民への憎悪と排撃を煽り立てた。

また、こうした権力者や「文化人」の虐殺扇動に勇気づけられた民間ファシストによるテロルが開始されている。2月23日には先の三浦瑠麗発言に応えるタイミングで、桂田智司ら右翼ファシストが東京の朝鮮総連中央本部ビル

に向かって銃撃する白色テロを強行した。元・全愛会議副議長の桂田はザイトクカイの創設者でもあり、「日本第一党」代表・桜井誠といったファシストと連携しつつ、これまで数々の「ヘイトデモ」を指揮してきた。2013年に大阪・鶴橋で「鶴橋大虐殺を実行しますよ!」と虐殺扇動をおこなった桂田雅の父親でもある。つまり、右翼の代表的存在が拳銃を持ち出し、予告を実行に移したということだ。

だが、労働者人民もまた新たな闘いを開始している。〈国民統合〉を拒否し、国境を越えた〈階級としての結合〉へ、一步一步前進が開始されている。アメリカ、ヨーロッパ、中東、南朝鮮をはじめ全世界で労働者人民の不屈の闘いが爆発している。

こうした資本主義そのものを根底から覆そうと胎動する〈革命の波〉の圧殺を目論む戦争=反革命戦争の遂行が、逆に帝国主義・支配階級の危機を拡大させ、帝国主義一資本の支配を根底から揺さぶりつつある。世界革命の胎動が開始されているのだ。

これこそが、いま我々の目の前にある「世界的激動」の意味である。

まさに〈戦争か革命か〉〈ファシズムかコミューンか〉を決する階級決戦の時代に、我々すべてが立っている。したがってまた、階級支配に対する態度が、一人の例外もなく問われる時代～革命情勢が到来している。戦争と恐慌の時代に「中立」はないのである。

こうした歴史的な転換点に我々は何をなすべきか。必要なのは決して「よりよき一票」ではない。ブルジョア議会とは、「民主主義」の幻想のもとで支配階級である資本家階級たちの利益を守るための政治機関に過ぎない。

したがって、議会のみを通じて戦争を阻止することは不可能だ。戦争を止める事ができるのは、唯一労働者階級の実力・武装による闘いのみである。

いまこそ安倍連合政府を打倒する時だ。ファシストを先制的に撃滅しファシズム権力を阻止しよう。排外主義を突破し、階級的国際連帯を掲げ、戦争突撃を粉碎しよう。プロレタリア革命勝利の帰趨をかけ、安倍連合政府打倒、天皇制を一環とした日帝国家権力解体へと起ちあがろう。すべての学生の結集で、戦争・ファシズムを打ち碎き弾圧と対決する革命的学生運動の前進を勝ち取ろう。

九大学生運動の破壊に手を染める 木元グループを一掃しよう!

弾圧の激化、およびファシストの敵対・襲撃の激化に白旗を揚げ、今や正真正銘の総スパイ集団、転向反革命へと純化し、労働者虐殺・被差別大衆虐殺の尖兵へと転落した、文字通りの権力の手先が木元グループだ。これまでも九大入学式において、われわれと同じようないたちで細々と「闘う」ポーズで登場してきた。だがその中味は非なるものである。

木元グループが呼び掛ける「野宿・日雇い労働者支援」とは、木元グループがデッチ上げたニセ「組合」(僭称「福日労」)による行政や警察と連携した労働運動弾圧と争議つぶし、売り渡しである。さらに、彼らの呼びかける「障害者解放運動の支援」「介護活動」とは、全障連を始めとする「障害者」解放運動への敵対のためである。そもそも彼らは「障害者」への差別的憎悪をむき出しにしつつ、三里塚闘争に参加しようとした全障連の「障害者」の自宅に土足で上がり込み「三里塚に行くなら家に火を付けるぞ」と言い放った。さらには、太宰府市役所を訪れ全障連の「障害者」が運営する共同作業所への補助金を打ち切るよう「請願」をおこなった。また、三里塚闘争においては、反対同盟への数々の敵対によって「排除宣言」を叩きつけられた連中だ。

このような連中を絶対に許してはならない。すべての学生は共に木元グループ一掃の闘いに立ち上がろう。

反戦・三里塚を基軸に 2018年の闘いに立ち上がろう

日本階級闘争の実力闘争拠点=三里塚闘争(成田空港反対闘争)は、農地強奪死守の決戦に入っている。いまこそ反対同盟・市東さんと共に闘おう。反対同盟は「国策」を50年にわたって阻み、「三里塚に勝って戦争をとめよう」と檄を発している。これに応えて現地攻防を闘おう。

沖縄労働者人民の闘いに連帯し、辺野古新基地、高江ヘリパッド建設を粉碎しよう。

相浦駐屯地への日本版海兵隊・水陸機動団新設弾劾。佐賀空港へのオスプレイ配備阻止。〈佐世保の海を守る会〉をはじめとした反軍・反基地闘争と結びつき、革

命的反戦闘争の爆発をかちとろう。階級的国際連帯の旗幟を鮮明に、戦争突撃・出兵を阻止しよう。

九州電力・川内原発、玄海原発の再稼動強行を弾劾する。原発廃炉・核廃絶をかちとろう。反核闘争の前進で日帝の核武装を粉碎しよう。被災労働者人民と連帯して闘おう。

差別糾弾を掲げ闘う全障連と連帯し闘おう。介護闘争を闘おう! 不屈の部落解放戦士石川氏に連帯し、狭山・部落解放闘争勝利に向けて闘おう。全学連は自ら引き起こした差別の自己批判—克服を賭けて闘う。5.23狭山闘争を闘おう。

闘う福日労(福岡築港日雇労働組合)と連帯し、労学連帯闘争の前進をかちとろう。駅・公園からの労働者叩き出しを実力で阻止しよう。福岡日雇い団結夏まつりに結集しよう。

天皇制代替わり攻撃を通した天皇制強化・永続化を粉碎し、天皇制廃絶をかちとろう。改憲攻撃粉碎。安倍連合政府打倒、日帝国家権力解体、全世界支配階級—帝国主義ブルジョアジー打倒、スターリン主義の破産を突破・止揚し、プロレタリア世界革命へと進撃しよう。

反革命革マルを解体・絶滅! 5同志虐殺報復—木元グループ解体・根絶戦にたづ。すべての学友は全学連の旗の下に結集し、ともに闘おう。

「教育改革」「大学改革」—產学協同路線粉碎! 戰争につながる軍事研究を許すな! 愛国主義教育粉碎! 大学当局による革命的学生運動非合法化攻撃と対決しよう。〈反戦・反ファッショ・反産協〉の革命的学生運動路線を鮮明に、全国学園に真紅の全学連旗をうちたてよう。すべての学友は、プロレタリア統一戦線の一翼として闘う全学連とともに闘おう!

